

3. 海岸に出かけよう



遠州海岸

遠州海岸はおもに天竜川から運ばれてきた砂によって形づくられています。天竜川から西側では、中田島砂丘をはじめ、広大な砂浜が続いていますが、豊橋市あたりから海食崖と呼ばれる波によってけずられた崖が続いています。

天竜川から海に流れる砂

天竜川流域にはいろいろな地質が分布するため、支流によって砂の色が違います。遠州海岸の白い砂はおもに花こう岩が起源です。



花こう岩が多い砂
(太田切川)



たい積岩が多い砂
(気田川)

天竜川から東側でも昔は広大な砂浜が広がり、内陸500mくらいまで砂丘でした。しかし、砂丘を農地として利用するため防砂林(松林)がつけられ、現在は海岸に沿ってせまい砂浜だけが残っています。

伊良湖岬



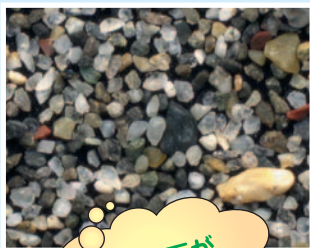
赤いチャートが見える

豊橋市伊古部の海食崖



黄色の石英が見える

中田島



白い長石が見える

竜洋



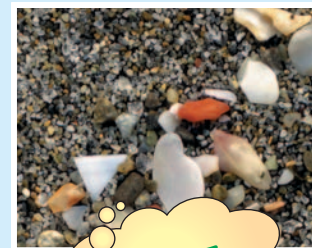
砂つぶの大きさがそろっていない

大東



とても細かい

御前崎の海食崖



貝殻もある